

1 漢字を文の中で正しく使うことができるか。

漢字の読み書きは、継続して岐阜県の課題であり「新出漢字の学習は、確実に時間を確保し、熟語が出てくる場合も一字ずつ意味（訓読み）を教え、その他の語句を例示する」といった指導改善を促してきました。

本年度は、新たに「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」設問も出題されました。



「指導改善資料 子どもの目線に立つ2019」参照

2 四 (1) 部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の…

(2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

(ウの設問省略)

自校の正答率

2四 (1) %

(2) イ %

(2) ウ %

2 主語と述語との関係に注意して、文を正しく書くことができるか。

このことは、平成30年度の県の課題として取り上げ「一文一文を丁寧に読み返す習慣を付け、日常生活や授業において、伝えたいことが相手に明確に伝わるように書いたり話したりする力を身に付ける」ための指導事例を紹介してきました。(指導改善資料「子どもの目線に立つ2018」参照)

本問は「[第3学年及び第4学年] (1) イ (キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。」に関わる内容なので、第4、5学年の児童にも取り組ませてみるのもよいと思います。

2 五 岩田さんは、【下書き①】で、Aの文の _____ 部と _____ 部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、 の中に続きを書きましょう。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

自校の正答率

2五 %

3 条件に合わせて、考えをまとめたり提案する文書を書いたりすることができるか。

問題形式が「記述式」の設問の正答率は、「選択式」や「短答式」と比べて低くなります。

例えば、下記に示した過去の設問では、示された<条件>の全てを満たすことができない解答や無解答が見られました。過去の状況と比較して、書く指導の成果が見られたか確認してみましょう。

平成30年度 B2ニ
献立を推薦する文章を書く(「かみかみあえ」)
<条件>
○【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

自校正答率(県)	無解答率(県)
%	%
(14.6%)	(3.3%)

平成31年度 1三
調べたことを報告する文章を書く(「公衆電話」)
<条件>
○「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
○【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

自校正答率(県)	無解答率(県)
%	%
(27.7%)	(3.7%)

R2年度
1三 取材を通して分かったことを取り上げて書く(「インスタント食品」)
<条件>(※他2つの条件省略)
○【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを取り上げて書くこと。
2ニ 提案する文章を書く(わたしたちができる「プラスチックの3R週間」)
<条件>(※他2つの条件省略)
○【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

自校正答率	無解答率
%	%
1三 %	%
2ニ %	%

1 文脈に即して漢字を正しく読むことや、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるか。

漢字の読み書きは、継続して岐阜県の課題であり「各領域の言語活動において、小学校も含めた既習の漢字や語句を意図的に取り上げて指導する」「総合的な学習の時間や特別活動などの国語科の授業外で、国語で学んだ知識や技能を活用させる指導を行う」といった指導改善を促してきました。

また、歴史的仮名遣いなどの文語のきまりについては、生徒の興味・関心を大切にしながら、教材に即して指導したり、必要に応じて取り立てて指導したりすることが大切になります。



問題番号	問題の概要	自校正答率
R 2 4一①	漢字を読む（震えて）※「震」は学年別漢字配当表以外の常用漢字	%
R 2 4一②	漢字を読む（支度） ※「支」小5、「度」は小3の配当漢字、「タク」という読みは中学で学習	%
R 2 4一③	漢字を読む（吹いて）※「吹」は学年別漢字配当表以外の常用漢字	%
R 2 4二①	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（よささうな）	%
R 2 4二②	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（ある）	%
H30A 8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（とほさざるなし）	県平均62.0% 国平均63.0%
H28A 9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	県平均80.8% 国平均80.2%

2 条件に合わせて、話す内容をまとめたり、自分の考えを書いたりすることができるか。

昨年度の「記述式」の設問では、概ね書く力が身に付いている状況でした。昨年度と比較して、今年度の状況を見届けてみましょう。

<p>平成31年度 ①三 ○「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率（県）</td> <td>無解答率（県）</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> <tr> <td>(93.2%)</td> <td>(1.3%)</td> </tr> </table>	自校正答率（県）	無解答率（県）	_____%	_____%	(93.2%)	(1.3%)	<p>平成31年度 ②三 ○話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率（県）</td> <td>無解答率（県）</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> <tr> <td>(63.5%)</td> <td>(7.9%)</td> </tr> </table>	自校正答率（県）	無解答率（県）	_____%	_____%	(63.5%)	(7.9%)	<p>平成31年度 ③二 ○広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率（県）</td> <td>無解答率（県）</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> <tr> <td>(79.6%)</td> <td>(6.2%)</td> </tr> </table>	自校正答率（県）	無解答率（県）	_____%	_____%	(79.6%)	(6.2%)
自校正答率（県）	無解答率（県）																			
_____%	_____%																			
(93.2%)	(1.3%)																			
自校正答率（県）	無解答率（県）																			
_____%	_____%																			
(63.5%)	(7.9%)																			
自校正答率（県）	無解答率（県）																			
_____%	_____%																			
(79.6%)	(6.2%)																			
<p>R 2 年度 ①三 卒業生から学ぶ会の最後に述べるお礼の言葉を書く</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率</td> <td>無解答率</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> </table>	自校正答率	無解答率	_____%	_____%	<p>R 2 年度 ③ 創作している俳句に入れる言葉を選択し、その言葉を選んだ理由を書く</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率</td> <td>無解答率</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> </table>	自校正答率	無解答率	_____%	_____%											
自校正答率	無解答率																			
_____%	_____%																			
自校正答率	無解答率																			
_____%	_____%																			

3 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすることができるか。

「読むこと」については、昨年度の調査において「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことや、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。」と指摘されている。（平成31年度（令和元年度）

【中学校】報告書 p.8 参照）

この課題を踏まえて出題された問題②一、三、四から、生徒の「読む能力」を見届けましょう。

問題番号	出題の趣旨	正答率
②一	文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、内容を捉える	%
②三	文章の展開に即して内容を捉える	%
②四	文章の内容を捉え、書き手の考えを理解する	%